

## 『同じ地域に学ぶ子どもたちの教育のために 小・中・地域の交流と連携を深めよう』

### I 主題設定の理由

- 同じ地域に学ぶ子どもを教育する立場で、地域が抱える教育課題を共有し、その解決に向けた交流を行う。
- 地域との連携を強化し、「地域の子どもは、地域で教育する」という視点で地域の教育力の向上を図る。
- 小学校・中学校の連携を強化し、小・中の系統的な教育のあり方を研究する。

### II 研究の内容

#### 1 第1回ブロック交流研究会

- (1) 日時 8月2日(金) 13:30～
- (2) 場所 松里中学校
- (3) 目的
  - ・各校の取り組みから学び合う。
  - ・松里中学校の児童・生徒について情報を交換し、今後の指導に役立てる。
- (4) 内容 【小・中学校の情報交換会】
  - 甲州市「確かな学力」育成プロジェクトの学級・集団づくりの取り組みについて(各校研究主任より)
  - 中学校の新生の様子(中学校より)
  - 小学校の児童の様子(小学校より)
  - 地域(松里中学区)についての情報交換

#### 2 第2回ブロック交流研究会

- (1) 日時 11月13日(水) 13:50～
- (2) 場所 松里小学校各教室
- (3) 目的
  - ・松里ブロック小中教職員が、小学校の授業の様子を参観し、児童の様子を把握する。
  - ・学習や生活の様子を情報交換することで、地域の教育的課題を明らかにし、小中連携して児童生徒の健全な育成を図る。
- (4) 内容 【授業参観】
  - 1年 国語「たからものおはなしかいをしよう」 平山沙織教諭
  - 2年 算数「新しい計算を考えよう かけ算(1)」 小河真由美教諭
  - 3年 音楽「せんりつととくちょうをかんとろう」 土屋弘美教諭
  - 4年 学活「自分を見つめ、友だちを知ろう」  
(エンカウンターをとり入れて) 古屋岳治教諭

5年 保健体育「エイズ教育」 大村健一教諭  
6年 国語「秋は人恋し～秋を感じる言葉を知ろう」 飯島典子教諭  
たんぽぽ 国語「詩を読もう」 金子佐由美教諭

【全体会】

- 各校の校内研究の概要について（各校研究主任より）
- 児童生徒の様子と情報交換（各校児童生徒指導担当より）

3 第3回ブロック交流研究会

(1) 日時 1月22日(水) 15:30～

(2) 場所 松里中学校

(3) 目的 ・3校の共通課題について、講師を招いて対応について学び、児童生徒の健全な育成に役立てる。

(4) 内容 【学習会】

「フィンランドから学ぶPISA型学力の育成～読解力、やる気を生み出す教育システム～」

講師 甲州市立松里中学校 奥山万寿美 教諭

III 成果と課題

1 成果

- ・小中連携の大切さは教育課題や子ども達の実態から見ても実感している。3回のブロック交流研究会の内容（児童生徒の情報交換、授業参観、フィンランドの教育事情に学ぶ学習会）が工夫されていたので、充実した研究内容であった。
- ・松里ブロックの先生方の交流の場にもなり、児童生徒をお互いに理解することが出来て良かった。
- ・生徒一人ひとりを大事に育てると同じ目線で連携ができていることが成果だと感じる。今後もさらに深めていきたい。
- ・各校の学校での生徒指導の様子や取り組みの様子、課題点などについて情報交換できたことは有意義だった。

2 課題

- ・甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの関わりを深め、プロジェクトの取組を活用する意味からも、Q-U（K-13法）の活用等を学ぶ場としても考えていくのとよい。
- ・メンバーも入れ替わるので、地域の史跡や文化財などについて臨地研修できる機会があるとよい。
- ・授業規律や家庭学習の充実など松里地域の子ども達の実態を具体的に出し合い、小中が連携に取り組んでいく柱などが研究会で話されるとよい。

（ブロック長 武藤英紀）